

# Topic 38

## 米国カリフォルニア州の VCP (その1)

- 1) こんなところですよ
- 2) カリフォルニア州の VCP

---

お疲れ様です。環境メルマの佐藤です。今週から数回にわたってカリフォルニア州にスポットを当ててブラウンフィールド再開発をみてみます。

### 1) こんなところですよ

太平洋に面した州、カリフォルニア。50 州中 33 番目に米国へ加入した比較的若い州です。(加入年 1850 年 9 月 9 日)。州人口は全米最大であり、その数なんと 3,500 万人 (2003 年) を超えています。人口密度は約 84 人/k m<sup>2</sup>、州都はサクラメント市、そして州知事はシュワちゃんことハリウッドスーパースターのアーノルド シュワルツェネッガー。

そのほかカリフォルニアといえば皆さん何を連想しますか。スーパーで定番のカリフォルニア産オレンジやワイン、オレンジや葡萄栽培に適した気候：地中海性気候、ヨセミテ国立公園をはじめとする巨大自然公園、世界的に有名な都市：ロサンゼルスやサンフランシスコ、高級住宅地として知られるビバリーヒルズ、映画産業のメッカ：ハリウッド、アジアからの移民が形成した地区：リトル トーキョー、チャイナ タウン、コリアン タウン、リトル サイゴン、学術研究で世界的権威をもつカリフォルニア州立大学、スタンフォード、カルテック等、同州に本拠地を構えている有名大企業：GAP、Walt Disney、Google、Yahoo、Oracle、Apple computer、Adobe、Hewlett-Packard Company、Fairchild Semiconductor、Intel などなど。ほんとうに話題に富んだ州ですね。

さて上記の企業の幾つかはカリフォルニアのシリコンバレーにあるハイテク企業や IT 企業です。これらの企業努力のおかげで、我々の生活が大変便利になったことはいまでもありません。しかし光あるところにはいつも影が存在するように、便利さを追求した社会には環境問題という影が忍び寄ってきました。まさに「企業のお影」です。

土壤汚染について言及すると、このシリコンバレー一帯には CERCLIS に掲載されている土壤汚染サイトやブラウンフィールドが数多くあります。ちなみに州全体には約 100 件のスーパーファンドサイト、それから約 100,000 件のブラウンフィールドがあると見積もられています。こんなにあるの？と疑いたくなるような数字ですね。

### 2) カリフォルニア州の VCP

同州のVCPは、1993年からカリフォルニア州環境保護局 危険物管理部によって運営されています。沢山のブラウンフィールドを抱えているため州単独では管理が難しい！ということで州を4分割して、各地区にVCP担当局が設置されています。

プログラムの進め方は以下のようになっています。

1. プログラム登録： 連邦および州のスーパーファンドサイトに登録されていないこと、AAI (Phase I 環境サイトアセスメント) を実施していること、ICに則っていること、等が登録条件になっています。
2. 交渉と契約： 州公認の専門家によって見積もられた自主浄化費用や、浄化プロジェクトの計画、州が提供するサービス内容等を交渉します。登録者は浄化費用を前払いしなくてはならないが、それと引きかえに州はプロジェクトのスケジュール管理や予算管理を行ってくれます。
3. 浄化活動： 州のスーパーファンドプログラムと同様の浄化目標をクリアしなければなりません。
4. 各種証明書の発行： 浄化完了証明書、不起訴契約書の提供

そのほかにも様々なブラウンフィールドの浄化を促進させるためのプログラムがあります。ここではその一部をご紹介します。

- ・ 浄化促進プログラム：これはVCPのパイロットプロジェクトです。汚染責任者にインセンティブを与えることで、塩漬けになっている汚染サイトの浄化を促進します。〔どんな条件のもとで汚染責任者がインセンティブを受けるのか、調べ中です。〕
- ・ 浄化ローンと（汚染）近隣サイトへの環境支援プログラム（CLEAN）：ブラウンフィールドの浄化後、再開発を促すための財政インセンティブ。
- ・ カリフォルニア財政損失防止と再開発保険プログラム（FAIR）：ブラウンフィールド再開発のためにデザインされた保険。

さて、同州のプログラムに登録し浄化を進めているサイト数は年平均300件。そのうち毎年平均125件の浄化が完了するそうです。約100,000サイトのブラウンフィールドを浄化するにはまだまだ時間と努力が必要なようです。

来週も引き続きカリフォルニア州にフォーカスをあてて、環境責任免除、インセンティブ、およびInstitutional Controlsの詳細についてみてみます。

Thanks God It's Friday!

Thanks God It's Brownfield!!

環境メルマ 佐藤 ([t.sato@ers-co.jp](mailto:t.sato@ers-co.jp))

---

坂野のつけたし ([banno@ers-co.jp](mailto:banno@ers-co.jp))

Nickname -- 「The Golden State (ゴールドラッシュ) 」 「The Land of Milk and Honey (旧約聖書から。繁栄が約束された場所) 」 「The Grape State (ナパバレーだけじゃないけどね) 」 「El Dorado State (黄金郷) 」

事例紹介 -Emeryville (エメリビル) : 1800 年代後半から 1990 年頃まで鉄スクラップを再生する工場が操業していた 10 万㎡弱の土地。雨がスクラップにあたって流れていった水が地面に浸透して、溶剤や鉛、PCB、そして油による土壌・地下水汚染が発生してしまいました。3500m<sup>3</sup>の土を入れ替え、アスファルトの舗装を行い、地下水の質をモニタリングする井戸が設置されました。また、この土地は商工業用途のみに利用されるとの制限 (Institutional Controlのひとつ) がつきました。この土地に商業施設を建てたのは家具のIKEA。1997 年に行政と合意書を結び、汚染土壌が周辺に飛散ないように舗装をきちんと維持管理していくことを約束し、そのかわり、不訴訟誓約書を取り付けたそうです。

([http://www.dtsc.ca.gov/SiteCleanup/Brownfields/upload/SMBRP\\_FS\\_BROWN\\_IKEA.pdf](http://www.dtsc.ca.gov/SiteCleanup/Brownfields/upload/SMBRP_FS_BROWN_IKEA.pdf))